

FAX 019-684-2227

岩手の署名数 2万3千筆



改憲よりも、いのち・暮らしが最優先！

「7・1盛岡スタンディングデー」



緊急署名岩手の会主催で、7月1日午前からお昼にかけ、川久保病院前、大通・野村証券前、盛岡南イオン前の盛岡市内3か所・計50人でス、タンディングを実施しました。時折小雨・霧雨が降り天候が危ぶまれましたが、「コロナ禍乗じた改憲は許さない」「いのち・コロナ対策が最優先」「医療・社会保障を壊す自公政権に選挙で審判を下そう」など、横断幕やプラカードを持ちながら、リレートークやチラシ配布を行い、歩行者やドライバーにアピール。横断幕を見て「オリンピックよりまずはコロナ対策だね」と話す散歩途中の方がいたり、小学生もバスの中から手を振ってくれるなど、幅広く市民に訴えることができました。



コラム＝ 熱を帯びる「台湾有事」論、これを止める「世論」が必要ではないか？

なんと菅首相が4月16日、ワシントンでバイデン米大統領と対面の首脳会談を行い、これが成果であったかの扱いがされております。

しかしその共同声明には、「台湾海峡の平和と安定は重要」と、佐藤・ニクソン会談以来明記され、賛否相対立する論議を呼んでいます。

報道番組に登場した「右派的」名誉教授が、「台湾は日本と運命共同体（要旨）」と、いつか聞かされたことがあった説明をし、また元防衛大臣の自民党衆議院議員は「台湾の安全保障は我が国と一体（要旨）」と、堂々と「植民地宗主国」然とし、本音を隠さず、コメントしておりました。これだけでも日本側の「積極的対応」論には改めて驚きを禁じえません。

また、短信ですが、外国メディア・英紙の「日米が台湾有事を想定して南・東シナ海で共同演習を行っている」との報道は「煙幕（カーテン）」の後ろで日米が行っていることを日本国民の前に晒しております。なんと日本側は、米側に台湾有事の際の作戦計画を共有するよう求めたものの、米側は「統合された戦争計画（合同軍事行動）の策定」を求め、日本側の積極性に対して難色を示したとの事であります。この日本側の「積極性」と「米側と共同演習」は、やめさせなければならないとコラム子は考えます。

加えて国内の短信ですが、あの副総理兼財務相が東京都内の講演で、中国が台湾に侵攻した場合、安全保障関連法の定める「存立危機事態」に認定し、限定的な集団的自衛権を行使することもあり得るとの認識を示したとのこと。なんと刀を鞘から抜き、振りかざしているではありませんか。単なる脅し？ジョーク？ではない気がします。

私たちは正しい歴史認識にたつて、戦争反対！憲法改悪反対！市民と野党の共闘を掲げて！とはっきりと言う時期に来ているのだと思います。(T)



8月の街宣活動 10日(火)12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前 ※荒天中止

3密を避け、宣伝行動を中心にしながら、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。ご都合のつく方は、ご参加ください！